

## 題名【顧問】

一応、大学の正式な部ということもありヨット部には“顧問“というのが存在します。部活には顔を出したりしないので、一度も見たことがないという学生・旧学生も珍しくないかもしれません。合宿の際には大学提出書類に顧問のハンコが必要となるので、その際には担当者が顧問のところへ行く必要があり、そこで初めて顧問が役に立つこととなります。私は学生当時にハンコをもらってくる係にあたっていたため、合宿時または船を小樽に運ぶ時は必ず顧問のところまで行っていました。

当時の顧問は材料物性工学科の後藤龍彦教授で通称「ゴタツ」というあだ名で（陰で）呼ばれていました。見た目は教授ということもあり、怖い人だなと感じる人です。学科が違ったので後藤教授の授業を受けることはありませんでしたが生徒には厳しいことで有名だったと思います。

ハンコをもらうときはノックしただけで『誰だ！（〇すぞ）』（カッコ書きはイメージ）みたいな感じで威圧され、結構ビビっていました。「ヨット部です」というと『おお！よく来たな！』と急に優しくなるのでギャップに戸惑いました。

大体『頑張れ』と言われてお金を頂くことがよくあったので見た目に反していい人だなと思ったのが思い出にあります。ただこの話はここで言って良かったのかは昔の話なのでよく覚えていません。

オチはありませんが何が言いたいかというと、顧問って大変だなということです。